

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

Every life deserves attention（すべての命に、光を）。病気で希望を失わなくてすむ社会の実現に貢献

アクティブ治験数
3,000本

2 中長期の経営戦略

1. CRISPR-GNDM®技術の活用

独自の創薬プラットフォームシステムを用いた遺伝子治療薬の開発により、数千あるといわれる遺伝子疾患で苦しむ方々に貢献

3. 最適・最速の開発戦略

各国の規制状況を鑑みて、開発国の選択を含めた開発戦略を構築し、遺伝子治療の実用化を推進

2. 市場創成への貢献

エピゲノム編集治療などの新しい創薬技術市場の創成に寄与し、世界の医療の進歩に貢献

4. 希少疾患治療への取組

政府の税制優遇やインセンティブプログラム（RPD PRV等）を活用し、社会的意義の重要な希少疾患治療薬開発に積極的に取組

3 対処すべき課題

① 研究開発における技術優位性の維持

- ・ CRISPR-GNDM®技術の更なる強化推進
- ・ 国内外の製薬企業・研究機関との共同研究推進
- ・ 自社内の研究開発体制と知財ポジションの強化

② 営業活動と事業拡大

- ・ 幅のある開発とバリューチェーン補完の実現
- ・ パートナーとの戦略的かつ補完的な連携体制構築
- ・ 研究開発進捗と連動した戦略的営業活動の実施

③ 資金調達と人材確保

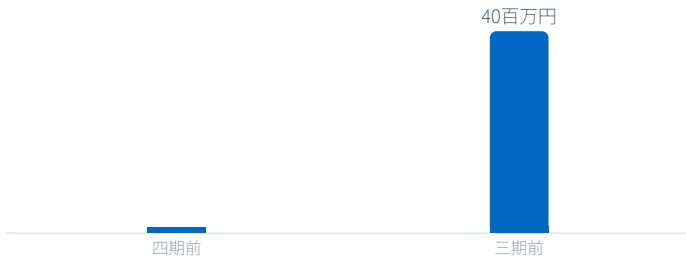
- ・ 提携による研究開発資金の獲得と多様な資金調達手段の確保
- ・ ボストン（ウォルサム）の研究開発拠点で世界的人材確保
- ・ 円安や人件費高騰への対応と適切な人員配置

面接で使えるポイント

- ・ CRISPR-GNDM®技術という独自プラットフォームで、既存モダリティでは実現不可能な希少疾患治療薬の開発に挑戦してい…
- ・ ボストンエリアのウォルサム市に研究開発拠点を置き、世界中のPh.D.研究者を集めた国際競争力のある環境を構築
- ・ 3,000本のアクティブ治験が進む遺伝子治療市場の創成に参画し、世界の医療進歩に貢献する事業

証券コード 4883

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

医薬品産業に属する創薬企業であり、グロース市場に上場している

主力事業・セグメント

- ・ 医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率102.9%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

▲21億円

営業利益率

102.9%

財務健康度

69点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 41.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収

614万円

医薬品内 70位/80社

平均年齢

37.0歳

医薬品内 78位/80社

平均勤続

1.42年

医薬品内 80位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: モダリス[4883]: 連結子会社における固定資産の譲渡及び特

